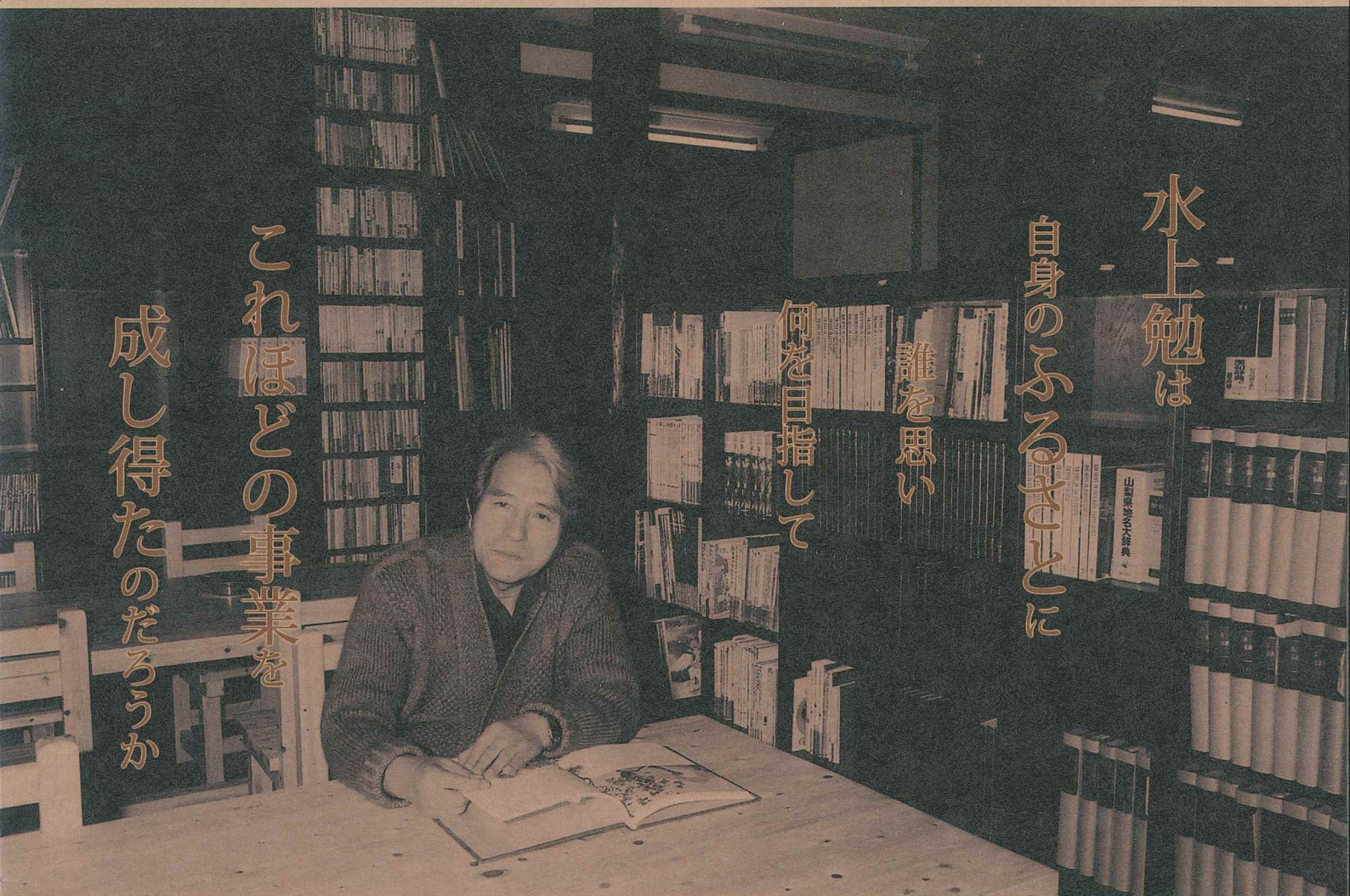


開館 40 年特別展

# 若州一滴文庫 40 年の軌跡



水上勉は

自身のふるさとに

誰を思い

何を目指して

これほどの事業を

成し得たのだろうか

水上勉 開館の日に本館図書室で（1985 年 3 月 8 日） 撮影：水谷内健次

2025 年 2026 年  
10 月 15 日（水）～ 2 月 9 日（月）

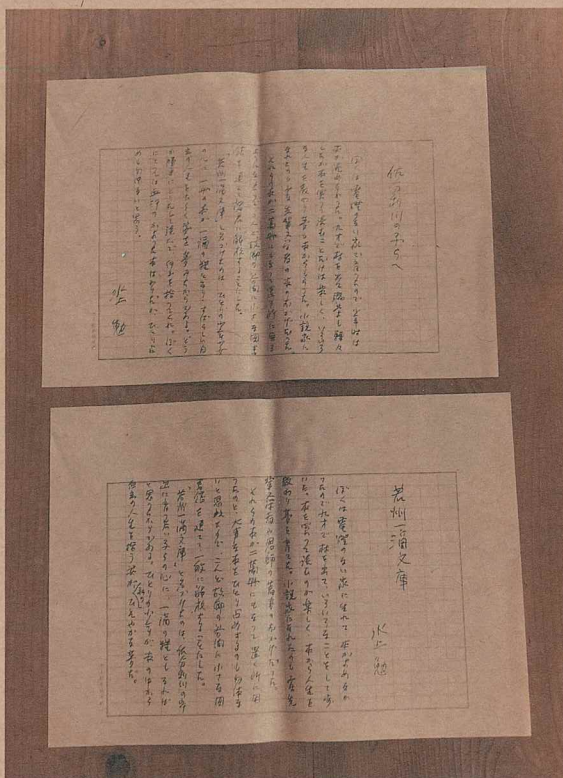
若州一滴文庫

〒 919-2116 福井県大飯郡おおい町岡田 33-2-1  
TEL : 0770-77-2445 FAX : 0770-77-2366  
休館日：火曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）

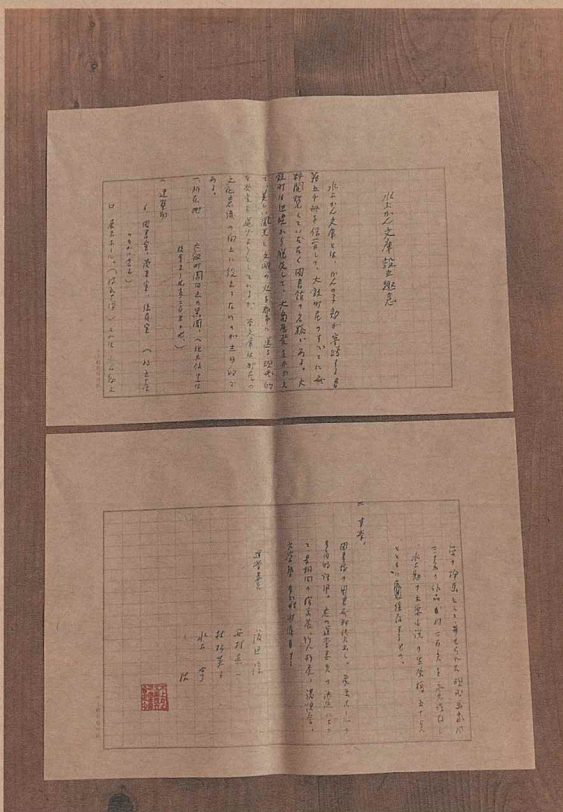
特定非営利活動法人一滴の里  
HP : <http://www.itteki.jp/>  
MAIL : [itteki@kore.mitene.or.jp](mailto:itteki@kore.mitene.or.jp)



一滴文庫 HP



「佐分利川への子らに」の草案  
「佐分利川へ」  
「若州一滴文庫」



「水上かん文庫設立趣意」書  
一滴文庫構想段階では、「水上かん文庫」と名付ける予定だった。しかし、最終的に「若州一滴文庫」という名前が付けられた

## 水上勉

1919年、福井県大飯郡本郷村（現おおい町岡田）に生まれる。1948年、私小説『フライパンの歌』がベストセラーとなり、1961年に発表した『雁の寺』にて第45回直木賞を受賞する。『飢餓海峡』や『一休』など、様々なジャンルの作品に取り組む。

1980年代に入ると、自身のふるさとに若州一滴文庫を創設するために奮闘する（1985年3月8日開館）。

2004年、長野県にある仕事場にて85歳で死去する。

## 関連イベント

10月25日 帰雁忌（13：00～）

記念座談会

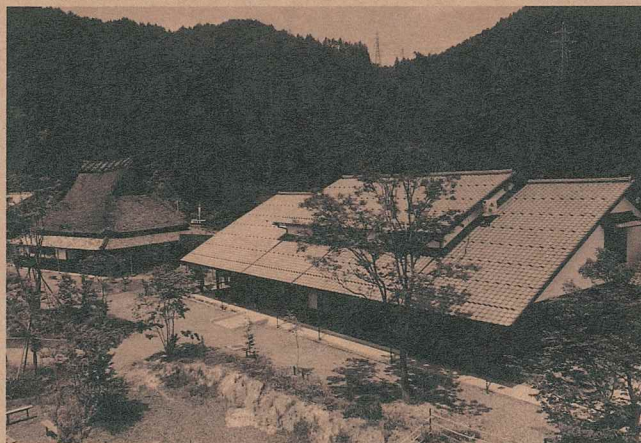
・一滴文庫の40年を振り返る

今年度の帰雁忌は若州一滴文庫開館40年という節目にあたることから、これまで歩んできた歳月を関係者とともに緋いていきます。導き手となる方は、創設時より水上勉氏を支えて運営を担ってこられた水上路子氏です。懐かしい建設時の写真や、水上から関係者に宛てられた手紙などを資料として、一滴文庫の歴史を振り返ります。

11月8日 企画展ギャラリートーク（13：30～）

・若州一滴文庫40年の軌跡

記念すべき一滴文庫の開館40年という節目を、企画展示で振り返ります。本展で紹介する様々な写真や手紙など、一滴文庫に遺された記録を頼りに、水上勉が一滴文庫をどのようなお考えのもとで建設されたのかについて、水上作品や展示資料をもとに解説をおこないます。



開館当時の若州一滴文庫（1985年）  
一滴文庫は、本館と茅葺館の二棟から始まった